
第 4 章 システムの構成

章の概要

特定の印刷環境に最もよく適合した設定を行うためには、印刷装置を構成することが必要です。この章では、構成可能な項目について説明します。すべての構成可能項目がリストされていますが、使用している印刷装置には適用されないものもあるので注意してください。

- 24ページの『接続機構の構成』
- 31ページの『印刷装置構成』
- 35ページの『用紙の定義』

メニューの中の構成項目の場所を見つけるのに役立つように、接続機構メニューとアプリケーションとユーティリティー・メニューの概要を示します。4番目と5番目のサブメニューが「操作員の手引き」とともにこの章にも記載されています。操作パネルを使用して構成を入力するための完全な手順は、「操作員の手引き」に記載されています。

接続機構メニュー

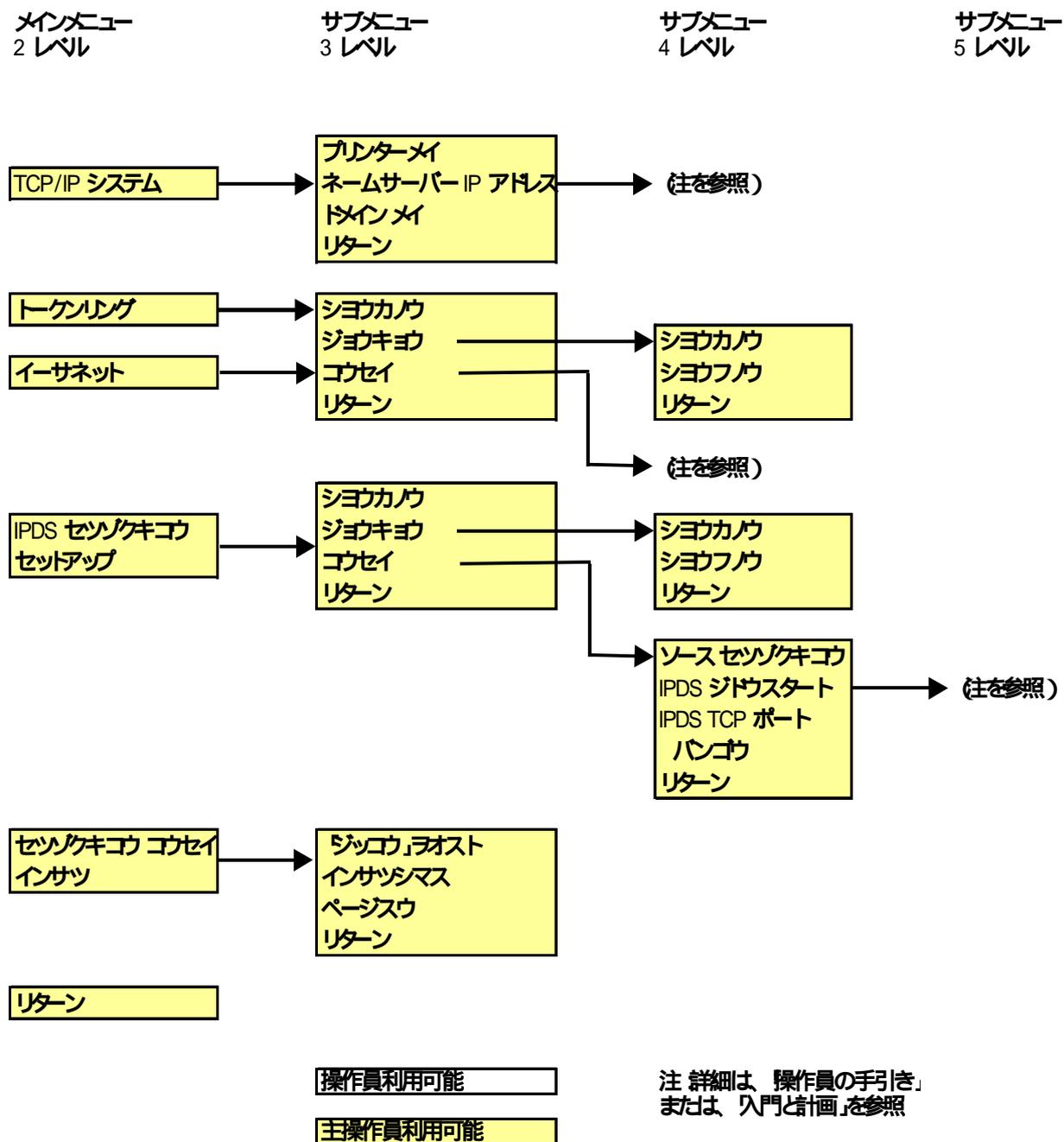


図 4. 接続機構メニュー

アプリケーションとユーティリティ・メニュー

サブメニュー
3 レベル

サブメニュー
4 レベル

サブメニュー
5 レベル

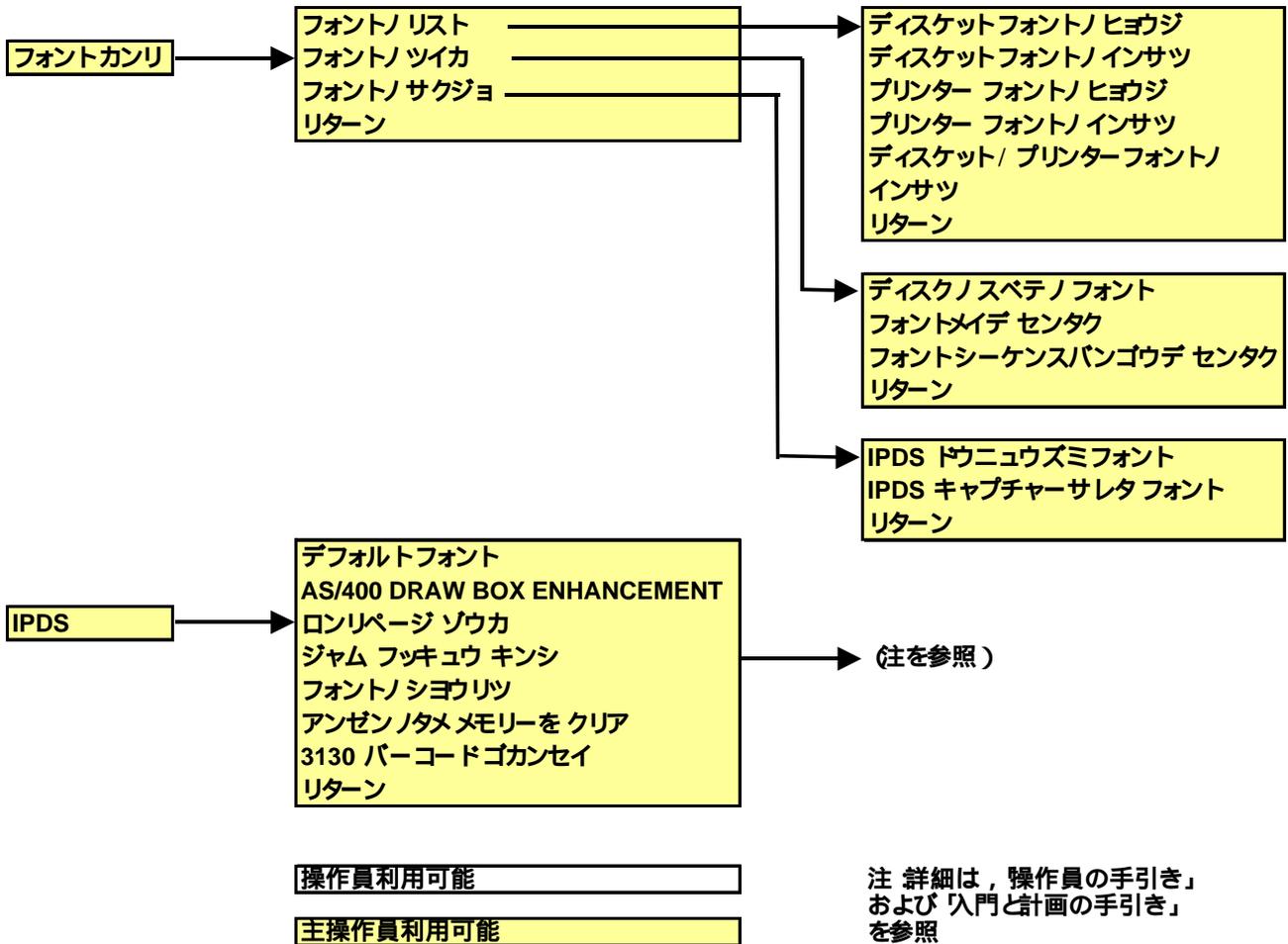


図 5. アプリケーションとユーティリティ・メニュー

接続機構の構成

印刷装置が通信に使用するパラメーターを定義することが必要です。この構成に必要な情報は、LAN またはネットワークの管理者から入手する必要があります。印刷装置メニューには、物理的に接続されている接続機構だけが表示されます。この章には、次のものが含まれています。

- 25ページの『TCP/IP システム』
- 26ページの『トークンリング接続機構の構成』
- 27ページの『トークンリング TCP/IP 接続機構構成』
- 28ページの『トークンリング SNA 接続機構構成』
- 29ページの『イーサネット接続機構の構成』
- 29ページの『IPDS 接続機構のセットアップ』

TCP/IP システム

TCP/IP システムを構成するために必要なパラメーターは、次のとおりです。

表 13. TCP/IP システム・パラメーター

構成パラメーター	説明	選択値
印刷装置名	これは印刷装置に割り当てられた固有な名前です。	最大 48 字の英数字。 名前を入力できるように、 英数字キーボードが表示され れます。
ネーム・サーバーIP アドレス	これは、ネットワーク内で名前からアドレスへの変換を提供するサーバーのインターネット・プロトコル・アドレスです。	この値は、次の形式で入力 します。 XX.XXX.XXX.XXX アドレスを入力できるように、 数字キーボードが表示 されます
定義域名	これは、ネットワーク内のホスト・システムの TCP/IP 名です	この値は、次の形式で入力 します。 XX.XXX.XXX.XXX 名前を入力できるように、 英数字キーボードが表示さ れます。

トークンリング接続機構の構成

次の表は、すべての構成項目と各項目の意味、およびパラメーターの選択値を記述しています。

省略時値には、アスタリスク* がついているか、“省略時値は、...”という記述で示されています。

表 14. トークンリング構成パラメーター

構成パラメーター	説明	選択値
使用可能状況	接続機構を使用可能または使用不可にします。	使用可能または*使用不可
SNA 使用可能	アダプターが SNA プロトコルを使用して作動することを指定します。	YES または *NO
TCP/IP 使用可能	アダプターが TCP/IP プロトコルを使用して作動することを指定します。	*YES または NO
代替アドレス(ローカル・アダプター・アドレス)	ネットワークの固有の LAN アダプター・アドレスを設定します。アドレスは LAN 上の他のアドレスと異ならなければなりません。	12 字の 16 進文字
MAC アドレス	これは表示専用フィールドです。TCP/IP トークンリング・アダプター ROM アドレスを指定します。	このフィールドは変更できません。
リング速度	このアダプターが接続されているネットワークのリング速度を指定します。この値は、ネットワークの速度と一致していなければなりません。そうでないと、ネットワークが作動しなくなることがあります。	4MB/SEC または *16MB/SEC
自動開始	印刷装置を始動したときに、アダプターを自動的に使用可能にするかどうかを指定します。	YES または *NO

トークンリング TCP/IP 接続機構の構成

表 15. トークンリング TCP/IP 構成パラメーター

構成パラメーター	説明	選択値
IP アドレス	印刷装置のインターネット・プロトコル (IP) アドレスを小数点付き 10 進数で指定します。	数値の形式は、 XX.XXX.XXX.XXX
サブネット・マスク	ローカル・サブネットを識別するマスクを小数点付き 10 進数で指定します。ローカル・サブネットがない場合、このフィールドはブランクのままにします。	数値の形式は、 XX.XXX.XXX.XXX
デフォルト・ゲートウェイ・アドレス	デフォルト・ゲートウェイの IP アドレスを小数点付き 10 進数で指定します。	数値の形式は、 XX.XXX.XXX.XXX
MTU サイズ (バイト)	最大伝送単位 (MTU) パケットの許容される最大長を指定します。	60 ~ 4096
ブロードキャストの制限 (Broadcast)	同報通信パケット (つまり、アドレス解決プロトコル・パケット) を、ブリッジを経由して他のリングに送ることを使用可能にするかどうかを指定します。	YES または *NO

トークンリング SNA 接続機構の構成

表 16. トークンリング SNA 構成パラメーター

構成パラメーター	説明	選択値
導入状況	接続機構が導入されているかどうかを示します。	
XID 番号	特定の装置部分をネットワーク上の他のすべての同様の装置部分から区別する ID。	16 進数の形式は、 XXXXXXXX
リモート・ネットワーク名	リモート論理装置に関連したネットワーク名。	英数字値の形式は、 XXXXXXXX 大文字の A~Z, 0~9, \$, #, @
SNA 介入タイマー	印刷装置がホストに接続機構が動作していないことを通知する前に、回復を必要とするエラー（用紙ジャムなど）を操作員が訂正できる時間の長さ。	0~98 分, *99 (タイマーオフ)
ローカル LU 名	セッションに関するローカル論理装置の名前。	英数字値の形式は、 XXXXXXXX 大文字の A~Z, 0~9, \$, #, @
リモート LU 名	セッションに関するリモート論理装置の名前。	英数字値の形式は、 XXXXXXXX 大文字の A~Z, 0~9, \$, #, @
モード名	セッションの特性を記述する SNA モードの名前。	英数字値の形式は、 XXXXXXXX 大文字の A~Z, 0~9, \$, #, @
リモート・アドレス	リモート・ホストのトークンリング・アダプター・カードのアドレス。	数値の形式は、 XX.XXX.XXX.XXX
ローカル・ネットワーク名	ローカル論理装置に関連するネットワークの名前。ローカル・ネットワーク名は制御点名を必要とします。	英数字値の形式は、 XXXXXXXX 大文字の A~Z, 0~9, \$, #, @
制御点名	アプリケーション制御点の名前。ローカル・ネットワーク名を入力する場合に必要です。	英数字値の形式は、 XXXXXXXX 大文字の A~Z, 0~9, \$, #, @
SSCP ID	SNA ネットワーク内の制御システム・サービス制御点の ID。	16 進数 0000 ~ FFFF
ローカル LU アドレス	他のシステムがローカル論理装置に情報を送信するために使用する宛先アドレス。	数値の形式は、 xxx 0 ~ 255
呼び出しタイプ	印刷装置がホスト・システムにそれ自身を識別する方法の指示。Listen(デフォルト値)は、ホストがその識別を問い合わせる（またはポーリングする）まで印刷装置が待つことを意味します。Call は、印刷装置の初期設定中に印刷装置がホストにそれ自身を識別させることを意味します。	*Listen または Call
SSCP の請求	このパラメーターは、OS/400 V2R2 および V2R3 環境の場合を除き、YES に設定する必要があります。	*YES または NO

イーサネット接続機構の構成

次の表は、すべての構成項目と各項目の意味、およびパラメーターの選択値を記述しています。

省略時値には、アスタリスク* がついているか、“省略時値は、...”という記述で示されています。

表 17. イーサネット構成パラメーター

構成パラメーター	説明	選択値
使用可能状況	接続機構を使用可能または使用不可にします。	使用可能または*使用不可
代替アドレス（ローカル・アダプター・アドレス）	ネットワークの固有の LAN アダプター・アドレスを設定します。アドレスはLAN上の他のアドレスと異なっていなければなりません。	12文字の16進文字
MAC アドレス	これは表示専用のフィールドです。TCP/IP イーサネット・アダプターROM アドレスを指定します。	このフィールドは変更できません。
自動開始	印刷装置を始動したときに、アダプターを自動的に使用可能にするかどうかを指定します。	YES または *NO
IP アドレス	印刷装置の内部プロトコル（IP）アドレスを小数点付き10進数で指定します	数値の形式は、 xx.xxx.xxx.xxx
サブネット・マスク	ローカル・サブネットを識別するマスクを小数点付き10進数で指定します。ローカル・サブネットがない場合、このフィールドはブランクのままにします	数値の形式は、 xx.xxx.xxx.xxx
デフォルト・ゲートウェイ・アドレス	デフォルト・ゲートウェイのIPアドレスを小数点付き10進数で指定します。	数値の形式は、 xx.xxx.xxx.xxx
イーサネット・タイプ	標準または IEEE802.3 イーサネット・タイプを指定します。	*標準 または IEEE802.3
MTU サイズ（バイト）	最大伝送単位（MTU）- IP パケットの許容される最大長を指定します。	60 ~ 1500

IPDS 接続機構のセットアップ

次の表は、すべての構成項目と各項目の意味、およびパラメーターの選択値を記述しています。

省略時値には、アスタリスク* がついているか、“省略時値は、...”という記述で示されています。

表 18. IPDS 接続機構のセットアップ・パラメーター

構成パラメーター	説明	選択値
使用可能状況	接続機構を使用可能または使用不可にします。	使用可能または*使用不可
送信元接続機構	使用されている接続機構のタイプを指定します。	*なし TCP/IP イーサネット TCP/IP トークンリング SNA トークンリング
IPDS 自動開始	印刷装置を始動したときに、IPDS を自動的に使用可能にするかどうかを指定します。 注：これは、ホスト接続機構の設定値と同じでなければなりません	YES または *NO
IPDS TCP ポート・アドレス	接続機構の TCP ポート・アドレスを指定します。 印刷装置構成で指定されるポート番号は、ホスト PSF システムで割り当てられているポート番号と一致しなければなりません。	数値の形式は、 xxxx 5001 ~ 9999

印刷装置構成

省略時値には、アスタリスク* がついているか、“省略時値は、...”という記述で示されています。

印刷装置構成は、次の印刷装置パラメーターを定義します。

表 19. 印刷装置構成パラメーター

構成パラメーター	説明	選択値
ジャム回復点距離 (インチ)	この項目は、ジャムが回復したときのスタッカー通過後のインチ数を指定します。	*0 ~ 500
NPRO タイムアウト	NPRO タイマー	*YES または NO
	NPRO 秒	60 ~ 3600 省略時値は、120
ビーパー	点検アラーム - これは、印刷装置が点検を必要とする状況を検出したとき、または入力キーが押されたときに鳴るビープ音です。	時間設定ビープ音 *連続ビープ音 オフ
	キーが押されたときのビープ音 - 機能キーを押すと鳴ります。	YES または NO
言語	一般ユーザーおよび主操作員のために操作パネルに表示されるテキストに使用する言語を指定します。	*英語 日本語カタカナ
印刷濃度	印刷出力の印刷の濃さの度合いを指定します。薄い印刷濃度を選択すると細かい線まで詳細に表現され、濃い印刷濃度を選択すると図形やイメージを強調することができます。濃い濃度を選択すると、トナーの使用量が増えます。印刷濃度の設定手順については『操作員の手引き』を参照してください。	薄い *中間 濃い
ページグループの遅延	印刷装置がホストから5ページより少なく受信したときに、印刷装置が印刷の繰り返しを待つ長さを制御します。数を減らすと、5ページより少ないジョブのパフォーマンスを上げるのには有効ですが、5ページより多いジョブのパフォーマンスを低下させる場合があります。	<ul style="list-style-type: none"> • 15 秒 • 20 秒 • 25 秒 • *30 秒

IPDS 構成

次の表は、Intelligent Print Data Stream (IPDS) 構成パラメーターです。

省略時値には、アスタリスク* がついているか、“省略時値は、...”という記述で示されています。

表 20. IPDS 構成パラメーター

構成パラメーター	説明	選択値
デフォルト・フォント	ホストによってフォントが指定されないときに使用するデフォルトのフォントを指定します。	『省略時フォントの使用』を参照してください。
AS/400 ボックス描画拡張	カーソルを用いてボックスを描き、描いたとおりに印刷することができる OfficeVision 機能のサポートを指定します。オンのときは、印刷装置はコード・ページ 259 をコード・ページ 1091 で置き換え、OfficeVision で描かれるときに線が直線になるようにします。オフのときは、コード・ページ 259 が使用され、OfficeVision で描かれる線は波線になります。	ON または *OFF
論理ページ増分	印刷可能ページが論理ページより大きいときに、エラーをセットせずに論理ページ・サイズを拡張するペル数を指定します。	*0 ~ 20 ペル
ジャム回復禁止	この項目は、用紙ジャムが除去された後、ホスト・システムが自動的にページを再転送するかどうかを制御します。	YES または *NO
フォント使用量	印刷装置の制御装置がフォント管理のために使用する記憶域の量を選択することができます。 低使用量 - 標準ポイント・サイズの通常の数のフォント 中使用量 - 多数のフォントまたは非常に大きいポイント・サイズ 高使用量 - 2 バイト・フォント	低 中 *高
セキュリティのためのメモリー消去	この項目は、残っている印刷データをメモリー上から消去するかどうかを指定します。メモリーを消去すると、印刷ジョブの開始が数分遅れます。高レベルのセキュリティが必要な場合には、YES を選択します。	YES または *NO
3130 バーコード互換性	バーコードが標準形式で印刷されるか、3130 印刷装置の形式で印刷されるかを定義します。	YES または *NO

省略時フォントの使用

省略時値には、アスタリスク* がついているか、“省略時値は、...”という記述で示されています。

印刷ジョブがフォントを指定しない場合、印刷装置は省略時のフォントを使用します。フォントは以下の構成パラメーターで定義されます。

表 21. フォント・パラメーター

構成パラメーター	説明	選択値
コード・ページ	<ul style="list-style-type: none">・文字セットの要素の識別を決めます。・デフォルト・フォントの変更を有効にするためには、IPDS を再始動する必要があります。	省略時の設定値は、コード・ページ 500 です。
フォント書体	<ul style="list-style-type: none">・フォント書体 (フォント・ファミリー) を設定します。・選択項目は、選択されたコード・ページによって異なります。・これは読み取り専用フィールドです。	省略時の設定値は Courier です。
フォント・スタイル	<ul style="list-style-type: none">・スタイルを設定します。・選択項目は、選択されたコード・ページによって異なります。	<ul style="list-style-type: none">・ *Medium・ Bold・ Italic medium・ Italic bold
フォント・サイズ (CPI)	<ul style="list-style-type: none">・1 インチ当たりの文字数を設定します。・選択項目は、選択されたコード・ページによって異なります。	省略時の設定値は 12 です。

コード・ページ

操作員は、次の表のコード・ページから選択して、省略時フォントを変更することができます。

省略時フォントを選択する前にコード・ページを必ず選択してください。フォント活字書体、スタイル、およびサイズは、選択されたコード・ページに基づいて決定されます。

表 22. コード・ページ

コード・ページ	説明
037	US, Canada, Netherlands, Portuguese
038	US English ASCII
260	Canadian French
273	Austrian / German
274	Belgian
277	Danish / Norwegian
278	Finnish / Swedish
280	Italian
281	Japanese
284	Spanish
285	UK English
286	Austrian / German (alternate)
287	Danish / Norwegian (alternate)
288	Finnish / Swedish (alternate)
290	Japanese / Katakana
297	French
420	Arabic
423	Greek
424	Hebrew
500	Belgian Swiss / International
870	Latin 2 Multilingual
871	Icelandic
875	Greek
880	Cyrillic
892	OCR - A
893	OCR - B
905	Turkish
924	Latin 9 EBCDIC Euro
1026	Turkish
1140	US / Canada Euro
1141	Austrian / German Euro
1142	Danish / Norwegian Euro
1143	Finnish / Swedish Euro
1144	Italian Euro
1145	Spanish Euro
1146	UK English Euro
1147	French Euro
1148	International Euro
1149	Icelandic Euro

用紙の定義

用紙、事前印刷用紙などの種々のタイプの印刷媒体を、「フォームノテイギ」メニューでプリンターに定義することが必要です。主操作員は、新しい用紙を定義することができます。

プリンターに用紙をロードする前に、最初に用紙を定義します。用紙の定義は、以下のパラメーターから構成されます。

表 23. 用紙パラメーター

構成パラメーター	説明	選択値
用紙名	用紙を記述する名前。	名前には、最大 12 文字の英数字を使用できます。
サイズ単位	用紙サイズがインチ単位かミリメートル単位かをプリンターに知らせます。	省略時値はインチです。
用紙幅	用紙の幅を定義します。	省略時値は現在セットされている用紙の幅です。
用紙長	用紙の長さを定義します（ミシン目からミシン目まで）。	省略時値は現在セットされている用紙の長さです。
シート当たりの用紙数	各シートで 2 つ以上の用紙に印刷することができます。	1~9 省略時値は 1 です。
折り畳み目保存用の白紙の挿入	用紙の折り畳み目を保持するために改ページ量を調整します。	*YES または NO
白紙を挿入しない	用紙の折り畳み目を保持するためにホスト印刷ジョブ間に白紙を挿入します。	YES または *NO
印刷面を合わせる	用紙の折り畳み目を保持するためにオートロード直後のホスト印刷ジョブ前に白紙を挿入します。	YES または *NO

用紙長さについて：このプリンターは、4.2 mm（1/6 インチ）の整数倍の長さのみをサポートします。長さは、整数のミリメートルか、または 2 桁までの小数のインチで指定することができます。入力された用紙長さ（ミリメートルまたはインチ）が 4.2 mm（1/6 インチ）の整数倍でない場合、次の 4.2 mm（1/6 インチ）までの増分だけ自動的に繰り上げられます。

印刷装置の出荷時には、既に事前定義用紙が構成済みです。次の表は定義済み用紙を示しています。これらの事前定義用紙は表示することだけが可能で、パラメーターを変更することはできません。

表 24. 事前定義用紙パラメーター

用紙名	サイズ単位	用紙幅	用紙長
Letter (12 x 8.5)	インチ	12	8.5
Legal (15 x 8.5)	インチ	15	8.5
Ledger (12 x 17)	インチ	12	17
15x11 (15 x 11)	インチ	15	11